

Guest information

視察・講演企業のご紹介



アグリビジネスモデル 研究会

第1回 2020年9月29日(火)【東京】 講演

食品成長戦略研究会と合同開催



農林水産省

大臣官房政策課環境政策室
持続可能な生産消費形態のあり方検討会
事務局担当 課長補佐

永田 一穂 氏

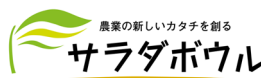
日本の目指す

“持続可能な生産消費形態のあり方”とは？

農林水産省では、持続的な生産を支える「持続可能な消費」のあり方や普及方策について、有識者による検討を行い、本年6月に、「あふの環2030プロジェクト」を設立。同プロジェクトの目的や現在の取組状況の報告を通じ、食と農林水産業のサステナビリティについて考える。

第1回 2020年9月29日(火)【東京】 講演

食品成長戦略研究会と合同開催



株式会社サラダボウル

代表取締役 田中 進 氏

サラダボウルが描く、 持続可能な農業モデルのカタチ

「農業の新しいカタチを創る」をビジョンとして掲げ、最先端の技術と徹底した管理を追求してきた同社は、2004年の設立以降、ハイスピードで国内最大級の農業法人に上り詰めた。農業経営に様々なマネジメント手法を積極的に導入。特にヒューマンリソースマネジメントにも注力し、「人を育てられる人を育てる」を目指している。仲間を作り、事業を拡大し続ける同社に、これからの未来的な農業モデルを学ぶ。

第1回 2020年9月30日(水)【東京】 講演

食品成長戦略研究会と合同開催



FTI JAPAN 株式会社

代表取締役 鳴海 健太郎 氏

FTI JAPAN が実現する 美味しいフェアトレード マグロ

“日本人が知らない美味しいマグロがある”インドネシア国営水産会社とのパートナーシップにより、マグロの漁獲・加工から、日本への空輸・販売までのサプライチェーンを一貫して手掛け、「天然・生・無添加」の高品質マグロを日本の食卓に届けている同社。付加価値を最大化することで、インドネシアの漁業関係者が正当な利益を手にすることができる“フェアトレード”の取り組みと今後のビジョンを学ぶ。

第1回 2020年9月30日(水)【東京】 視察・講演

食品成長戦略研究会と合同開催

ミヨシ油脂株式会社

代表取締役社長 執行役員 三木 逸郎 氏

創業99年 ミヨシ油脂の考える 食の持続可能性とこれから

1921年(大正10年)に創業し、今年で99年目を迎える油脂加工製品メーカー。食品事業と油化事業の二大事業を有し、それぞれの分野で「油脂」の力を活かしたものづくりを行っている。同社の掲げる「人によし、社会によし、未来によし。」という経営理念に基づき、創業から持続可能を目指す企業活動の取り組みを学ぶ。

第2回 2020年12月2日(水)【九州】

視察・講演

有限会社北部農園

代表取締役 上田 教文 氏

北部農園の成長の軌跡と今後のビジョン(仮)

有限会社北部農園は創業以来、安心・安全・安定供給を基本に特裁レベルの栽培をしており、自社製品である有機肥料の利用することで連作障害を回避したり、ハウス栽培と露地栽培の併用により安定供給を実現するなど、業界の課題に向き合った経営を行っている。そんな同社に以下の3点を学ぶ。

1. 北部農園の成長の軌跡
2. 農作物のロス低減に向けた計画作付、計画出荷の実現
3. 効率的生産による自給率向上に向けた今後の取り組み

第3回 2021年1月28日(木)【東海】

視察・講演



京丸園株式会社

代表取締役 鈴木 厚志 氏

～喜びと安心と誇りの農業経営～

「農業と福祉と企業のビジネスモデル」

水耕栽培で「京丸姫シリーズ」を展開する同社は、「ユニバーサル農園」を掲げ、積極的に障がい者採用を行っている。しかし、この取組は福祉のためではなく、「農業経営における幸せの追求」だと鈴木社長は語る。そんな同社に以下の3点を学ぶ。

1. 農業と福祉と企業のビジネスモデルのあり方
2. 互いの笑顔が互いの支えとなる「笑顔創造」
3. 「農を通した働きの場づくり」をめざし、土耕部・水耕部・心耕部がそれぞれの役割を果たす仕組み

第4回 2021年3月25日(木)【大阪】

視察・講演

農産物生産・販売・加工

GreenGroove

代表
中島 光博 氏

都市型農業から見る国産農業の可能性と課題

大阪府和泉市にて独自開発・自作の水耕栽培システムでベビーリーフを中心に多品目を栽培。2019年のG20大阪サミットでは野菜生産者で府内唯一の指定食材として選出された。「縁もゆかりもなかった大阪」で「誘われただけ」で農業を始め13年目。特に農業に憧れや先入観を持っていなかったからこそ客観的視点で営農し、目標は「優良企業になる」と決め、「普通の人々が普通に選べる農業」の経営モデルを目指す中島代表から今後のビジョンをお話いただく。

第2回 2020年12月3日(木)【九州】

視察・講演



有限会社阿部牧場

代表取締役 阿部 寛樹 氏

世界一美味しいミルクを世界のブランドに

自社ブランド乳製品が国際味覚審査機構にて、極めて優秀な製品に贈られる三つ星をダブル受賞した有限会社阿部牧場。最高の品質を実現している同社は、イタリア北部のベルガモにあるチーズ工場インヴェルニッツィ社と2019年に業務提携を結び、ブランディング活動も推し進めている。そんな同社に以下3点を学ぶ。

1. 阿部牧場の成長の軌跡
2. 高品質を追求する阿部牧場のこだわり
3. イタリア企業と提携したブランディング戦略について

第3回 2021年1月29日(金)【東海】

視察・講演



株式会社ブルーチップ

代表取締役 馬場 憲之 氏

～アメリカンスタイルのアグリビジネス～

アメリカン+レイドバック=ブルーチップの事業戦略

異業種からアグリビジネスへ参入し、いくつかの挫折を経ながらも困難を克服してきた馬場社長。「農業+加工+サービス」の6次化産業に、コミュニケーションを取り入れた「アメリカンスタイル総合型農業ビジョン」の事業戦略を学ぶ。

1. 異業種から「アメリカンスタイルのアグリビジネス」へ参入した経緯
2. BtoCからDtoC(ダイレクトカスタマー)への展開
3. 企業として「プロフィット」を追求する

第4回 2021年3月26日(金)【大阪】

視察・講演



カタシモワインフード株式会社

代表取締役 高井 利洋 氏

100年の歴史を紡ぐ西日本最古のワイナリー～5代にわたって愛されてきた秘訣と今後のビジョン～

良質なワインを生み出し続け、国内外問わず数々の受賞歴を持つ同社。その歴史は古く、明治時代初期に植えられたブドウの木々、大正元年から培われてきたワイン醸造のノウハウは、今もお大切に受け継がれている。減農薬栽培の採用、地域への貢献活動等、ワインを通じた活動も積極的に行う同社は、その取組も国や地域から高く評価されている。そんな老舗ワイナリーに、選ばれ続ける秘訣とこれからの農業のあるべき姿を学ぶ。

タナベ経営 アグリビジネスモデル研究会

検索

研究会の詳細は、こちらをご覧ください